

第2回教育実践研究発表会プログラム

日時	令和6年8月6日(火) 9:00~12:30
開催方法	オンライン (Zoom)
受付	8:40~ 9:00 受付 (Zoom ミーティングに参加)
開会式	9:00~ 9:10 学長あいさつ、運営説明
発表会	9:20~12:15
閉会式	(分科会ごとに)

○第一分科会 司会：林、田村

- ① 9:20~9:40 <国語> 小川 高広 (上越教育大学附属小学校)
「物語る力を育成する学習の実践研究 –自己形成としての伝記の語り納めの創作–」
 - ② 9:45~10:05 <国語> 前澤 明里 (柏崎市立第三中学校)
「自ら「問い」をもち、解釈することを通して読みの方略の自覚を促す授業の在り方
~「ミニマル・ストーリー」の変容説明を手がかりにして~」
 - ③ 10:10~10:30 <国語> 高木 麻由 (胎内市立黒川小学校)
「説明的文章を用いた読解力を形成するための授業づくり
–「指摘」と「変換」の繰り返しから「理由付け」につなげる読みの手立てをもとに–」
 - ④ 10:35~10:55 <社会> 堀内 駿 (上越市立城北中学校)
「社会的な見方・考え方の再検討を促し、表現力を高める指導の工夫
–中学校公民授業における「ゆさぶり発問」の開発と設定を通して–」
- <休憩 10:55~11:05>
- ⑤ 11:05~11:25 <社会> 宮下 祐治 (長岡市立中島小学校)
「社会構造に着目した水俣病の小学校社会科授業実践 –SDGs・ESDとの関連を探って–」
 - ⑥ 11:30~11:50 <社会> 棚橋 幸平 (長岡市立豊田小学校)
「地域に対する既存の知識と歴史的事象を繋ぎ、多角的な視点から思考する児童の育成」
 - ⑦ 11:55~12:15 <理科> 新田 和也 (長岡市立関原小学校)
「小学校中学年段階における科学的な問いをつくる力を育成する継続的な指導
–変数と因果関係に着目した仮説から科学的な問いをつくる自作ワークシートの活用–」

○第二分科会 司会：南、平間

- ① 9:20~9:40 <算数・数学> 北島 大樹 (妙高市立新井中学校)
「数学的な見方・考え方を働かせ、主体的に知識・技能を獲得することができる生徒の育成」
 - ② 9:45~10:05 <算数・数学> 高山 史 (長岡市立豊田小学校)
「算数科における探究的に学ぶ小学一年生の育ちに関する一考察」
 - ③ 10:10~10:30 <生活> 下鳥 陽代 (上越市立大手町小学校)
「非認知能力の育成を目指した生活科の実践 ~非認知能力を発揮したり育んだりする子どもの姿から~」
 - ④ 10:35~10:55 <生活> 西脇 悠太 (長岡市立表町小学校)
「経験と言語の往還によって気付きの質を高めることを目指す飼育活動実践」
- <休憩 10:55~11:05>
- ⑤ 11:05~11:25 <国語> 遠山 香歩 (上越市立直江津小学校)
「通常学級における語彙力の向上と児童の読むことに対する意識の変容」
 - ⑥ 11:30~11:50 <国語> 久保 葉月 (三条市立長沢小学校)
「理解語彙から表現語彙へ繋げる記述前指導の工夫
–小学校中学年における体験したことを書く作文学習を通して–」

⑦ 11:55～12:15 <国語> 武田 純弥 (南魚沼市立中之島小学校)

「小学校中学年における「最後の一文」を読む〈問い〉の検討」

○第三分科会 司会：栗林、渡辺

① 9:20～9:40 <生徒指導> 寺島 恭平 (上越市立直江津小学校)

「互いにケアし合う道具としての交換日記を通じた児童生徒理解における教師のかかわりに関する事例研究」

② 9:45～10:05 <体育・保健体育> 木間 佳美 (長岡市立脇野町小学校)

「ゲーム作りを通して、ボール運動の本質に迫る ―みんなが関わり合えるボール運動の実践から―」

③ 10:10～10:30 <体育・保健体育> 本間 葵 (新潟市立桜が丘小学校)

「創作活動を取り入れた協働性と創造性を育むリズムなわとびの工夫」

④ 10:35～10:55 <体育・保健体育> 神戸 諒平 (上越教育大学附属小学校)

「自分たちの求める動きを実現し、ゲームの理解と楽しさを深める学習の在り方の検討

―学習者主体のルール作りを位置付けたネット型単元を通して―」

<休憩 10:55～11:05>

⑤ 11:05～11:25 <外国語> 北川 智也 (上越市立三和中学校)

「中学校英語における効果的なライティング能力の育成 ―目的・場面・状況を明確にした6つの手立て―」

⑥ 11:30～11:50 <外国語> 堀 正人 (長岡市立日越小学校)

「児童が主体的に学び、英語表現に自信を深めていくための指導の工夫

～帰納的な指導と効果的な言語活動を通して～」

⑦ 11:55～12:15 <図画工作・美術> 宮澤 諒也 (糸魚川市立糸魚川小学校)

「低学年造形遊びにおける他者と経験を共有することの有効性の検討

―小学校1年「すなとつちとなかよし」の実践から―」

○第四分科会 司会：山上、鈴木

① 9:20～9:40 <教育方法一般> 寺岡 幸作 (長岡市立神田小学校)

「「ステーション授業構想」をもとにした教育活動が学級集団に及ぼす影響に関する事例研究」

② 9:45～10:05 <特別活動> 加藤 諒大 (糸魚川市立大野小学校)

「子どもたちのウェルビーイングを高める手立ての研究」

③ 10:10～10:30 <特別活動> 高橋 沙友里 (上越市八千浦中学校)

「特別活動における話し合い活動の充実 ―ファシリテーションスキルの学習を通して―」

④ 10:35～10:55 <特別支援教育> 小川 彩 (新潟県立江南高等特別支援学校)

「知的障害特別支援学校高等部における相互評価による清掃スキルの形成」

<休憩 10:55～11:05>

⑤ 11:05～11:25 <特別支援教育> 青山 大陸 (三条市立栄中央小学校)

「特別支援学級児童の不適切行動を予防するアンガーマネジメントの効果」

⑥ 11:30～11:50 <特別支援教育> 齋藤 鳳人 (出雲崎町立出雲崎小学校)

「小学校特別支援学級における生きる力の育成を目指した生活単元学習」

⑦ 11:55～12:15 <総合的な学習の時間> 長田 凌央 (津南町立芦ヶ崎小学校)

「児童の主体的・協働的な態度を育てる総合的な学習の時間の考察」

一人20分 (発表15分、質疑応答5分)

※ 発表間に5分間の発表者の交代時間をとっています。